

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成 26年 4月 28日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101151		
法人名	社会福祉法人 愛の会		
事業所名	いろり端水戸	ユニット名	式番館
所在地	〒311-4144 茨城県水戸市開江町国置8		
自己評価作成日	平成26年4月28日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「入居者の笑顔が私たちの最高の喜び」をモットーに、入居者も職員も笑顔でいられるよう、一緒に喜びを分かち合えるような雰囲気作りを目指しています。</p> <p>入居者の方々の抱える不安な思いを正しく受け止めて「本当の気持ち」に寄り添えるよう支援しています。また、ご本人の意向だけでなく少しの体調変化にも察知し、それに応じた主治医への相談・報告・受診を行って大きな病気につながらないように心掛けています。</p> <p>ご家族の方へは、面会時間は決まっていないのでお仕事前や夜にも様子を見に来ていただくなど、いつでも面会が出来るようにしています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	廊下や事務所などいつでも見られる場所に理念を掲示している。また、その理念に基づいて処遇するように全職員が務めている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの双葉台保育所との交流を増やしたり、避難訓練や花火大会などこちらのイベントに参加して頂いている。 地域の町内会に加入し、避難訓練などには回覧板で協力をお願いしている。また、地区の運動会には一緒に参加している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の中で、認知症の症状別による特徴などを伝え、地域の方に理解して頂けるようにしている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回のペースで市役所の職員・民生委員・近くの保育所職員・他GH施設長利用者家族等を招いて開催している。そのなかで様々な意見をいただき、サービスへと生かしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	施設長が水戸市グループホーム協議会の役員となり、水戸市職員と共に連携を取っている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束のない介護のための指針の取り組み」のポスターを掲示している。いつでも職員が確認し、理解している。 また、身体拘束防止のマニュアルがあり、いつでもみられるようにしている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止のポスターを掲示している。関連する研修にもなるべく参加できるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が成年後見制度や権利擁護についての勉強をしている。現在お一人この制度を利用されているが、他の方についても問い合わせがあった時には必要に応じてご家族に情報を提供し、話し合いなどを行いながら支援している。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・改定などの時には施設長が説明し、時間をかけてご家族にみていただく。疑問や不安なところはこちらから十分に説明している。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者やご家族等から意見や要望など気軽に話して頂けるよう、こちらから働きかけている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議・ユニット会議等随時意見を聴く機会を設けて、意見を反映するようにしている。勤務についてはできるだけ希望に合わせて作成している。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	賞与の時期には、職員一人一人が業務の振り返りができるように面談を行い、やりがいや今後どう仕事をしていきたいかを話し合う機会を設けている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については、職員の段階に応じて研修の機会を設けたり、職員から希望により参加したい研修があれば受けられるようにしている。研修後は研修報告書を作成し、職員間で回覧している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人内にある他グループホームと定期的に会議を行っている。また、地域密着型介護サービス協議会や水戸市グループホーム協議会の会員にもなっているので、研修や合同勉強会なども常に行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用をする段階で、ご本人の困っていることや要望などを話しやすいようこまめに声をかけて話を引き出すようにしている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時や面会時に細かく話し合うことで不安や要望を把握している。また、ご家族の希望や要望にもなるべく寄り添い、関係が築けるようにしている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族が本当に何を必要としているのかを見極めるように、利用開始までに関係者としてケアマネや他事業所からの情報を生かしている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できるだけご自身でできていることを継続できるように、介護されているという一方的な立場に感じないように配慮している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人と一緒に支えていける関係でいられるように、ご本人の状況を面会時にこまめに報告し、ご家族からもアドバイスやヒントを頂くようにしている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人や友人などに面会にいつでも来て頂けるように話をしている。また、御本人より馴染みの場所に行きたいと要望があった時はできる限り行けるような環境を作っている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士で穏やかに過ごして頂けるように座席を配慮している。入居者同士で円滑なコミュニケーションがとれるように職員が間に入ったり、近くで見守ったりしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族と会った時には挨拶をしたり、ご家族やご本人の様子なども話している。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日ごろからこまめに要望を聞き、取り入れている。また、ご自身の意見を出しづらい方は言葉だけでなく、表情やしぐさ、ご家族と話し合いながら、お一人お一人の思いに近づけるように努力している。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にバックグラウンドを取り、生活環境やこれまでの経緯などを把握していく。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日バイタルチェックを行い、心身状態の把握に努めている。ケアプラン作成時にはセンター方式で日常の様子をアセスメントし、現状の把握に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は利用者やご家族の希望だけでなく、職員や主治医などの関係者も含めて、意見を取り入れ、ケース会議で話し合ったうえで計画書を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を個人記録に記入し、情報を共有している。また、申し送りノートに記入したり、ケース会議で話し合ったりして常に職員間で共有しながら介護計画の見直しに生かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力病院以外の受診時にご家族の都合がつかない時は協力するような体制を整えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のスーパーや公園などを把握し、利用者が利用できるように努めている。ご本人の馴染みの美容室と一緒に出かけられることもある。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に受診し状態報告している。また、変化時やご本人の希望に合わせてその都度受診したり、相談して眼科や整形外科、皮膚科、歯科へも同行受診している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同じ建物内にある訪問看護ステーションと契約しているので、定期的に来てくださっている。また、ちょっとしたことでも相談し、アドバイスをいただくことも多い。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した場合は、できるだけ毎日面会に行くことで不安感を少しでも解消して頂けるようにしている。また、病院関係者ともこまめに連絡を取り、早期退院を目指している。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化や終末期に向けての方針をご家族とご本人に説明している。また、ご家族ともこまめに通院時の報告を行っているため、終末期を迎える段階には主治医ともよく相談し、ご家族も踏まえ三者で話し合いを重ねている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてはマニュアル化しており、いつでも再確認できるようにしてある。また、救急救命についての研修にも参加している。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に防災訓練を行い避難できる方法を身につけている。また、防災用倉庫にある備品の確認や発電機の使い方とも会議時に全職員で実際にやって確認している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人に合わせ、プライバシーにも配慮し、声かけや対応をしている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	こまめに声かけをすることで思いや希望を聞く機会を多く作ったり、なかなか言葉に出せない方については、しぐさや表情で少しでも自己決定して頂けるように配慮している。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の体調も配慮しながらご本人の希望に合わせて一日を過ごせるよう、ご本人と話し合いながら支援している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人に聞いたり、ご家族に聞いたりしながら、その方に合った身だしなみができるよう支援している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間が楽しいものとなるように苦手なものがある方は代替え食を行っている。また、できる範囲で片づけや準備を手伝って頂いている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に合わせて一日の水分量や食事量を把握できるように個々のADL表を作成している。また、これまでの習慣に合わせて食事についても変更などしている。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、個別に声をかけ歯磨きやイソジン液を薄めたうがいをしている。また口腔内の状態も確認するようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄サイクルを調べて、それに合わせたトイレ誘導や声かけ、介助を行っている。できるだけ失敗を減らすことができるように配慮している。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行い、乳製品の摂取や体操や散歩で体を動かして予防に取り組んでいる。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できる機会があるので、ご本人の希望に合わせて対応している。また、柚子湯などの季節のものや入浴剤などを入れたりして、入浴自体楽しんで頂けるようにしている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調に合わせて気持ち良く眠れるよう、日中の過ごし方を検討したり、入眠前の過ごし方を気を付けるようにしている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬の説明書を保管し、いつでも見られるようにしている。また、変更があれば全員に申し送ったり、わからないものについては医師に確認するようにしている。服薬介助マニュアルもあるのでマニュアルに沿って対応している。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	センター方式で生活歴を3か月に1回見直して職員が再確認するようにして、好きなことや気分転換などをお一人お一人に合わせて行っている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご希望に合わせてドライブや散歩、図書館などへ出かけている。また、遠足や誕生日の時などには普段いけないようなところをご本人の希望に合わせて出かけるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理のできる方については買い物に行ったときなどにご本人から出して頂いている。管理ができない方でも財布を事務所で預かり、買い物時にご本人に渡して購入して頂いている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>携帯電話や居室に固定電話を持っている方はいつでも電話をすることができる。電話をするのが難しい方は、いつでも事務所の電話が使えることを伝えている。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間についてはこまめにユニット会議を行い、利用者が使いやすく居心地がよいように話し合い対応している。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>窓際やデッキ、廊下の端に椅子やソファを置いているので、自由に使っている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>長年使いなれたものを入居時に持ってきていただくように話している。自由に壁にカレンダーや写真を飾ったりもできるような心地よい空間づくりに努めている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご本人のできることに合わせてベッドや家具の配置を少し変えたり、印をつけたりして工夫している。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない